

新潟県卓球連盟

卓球便

vol.50

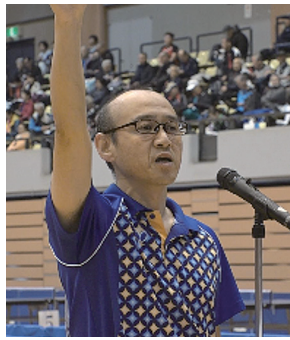
平成30年2月24日

発行人／新潟県卓球連盟

印刷所／(有)フジプリント
(新潟市)

「全日本卓球選手権

(マスターズの部)に参加して」



株式会社ボラテクノ卓球部

狩野 浩和

昨年十月に上越市で開催された全日本卓球選手権マスターズの部(以下マスターズ)に初出場してから、多くの大切な事を得たように思います。私にとって二〇一七年はたくさんの卓球関係者と出会い、卓球に対する情熱や、練習・試合に向かう気持ち、考え方が大きく変化したように感じます。

振り返ると、転勤で上越市に赴任し、二〇一二年に二十年ぶりの新潟県で卓球を再開しました。ボールの

規格やルールの変更に戸惑いながらも、毎年マスターズ予選にチャレンジしましたが敗北の連続でした。週一回の練習ではどうにもならず、地元のクラブである謙信上越さんの練習に参加させてもらうようお願いしました。卓球好きが集まるこのクラブで、たくさんの卓球人に出会い、県外の大会にも誘われ参加するようになりました。特に群馬県の大大会に出場したことが気持ちの中で大きく変化を起こしたと思っています。高校までを群馬県で過ごした私は、群馬の大大会に出るのは高校以来三十年ぶり。そこでかつてのチームメイトと先輩に再会し、彼らも止めていた卓球を再開し群馬代表を目指していることを知りました。更に技術のレベルアップを目指して全国で勝つための練習を続けているという向上心

と、卓球愛に満ちた多くの言葉に、大きく触発されました。

二〇一五年から二〇一六年にかけて練習量を更に増やし、試合への思いを強く意識し、自分のスタイルを見つめ直し、勝つために強化しなくてはいけない点、克服しなければいけない点を、悩みながらも思い続ける練習してきました。一番練習で意識したのは、どんな練習でも気を抜かず凡ミスをしないうこと、自分のボールとして気持ちを込めて打つこと、苦しいけど動くこと、自分のパターンを理解しミスの確率を下げることなどです。

二〇一六年末の東京選手権予選で初めて新潟県代表に選出されました。嬉しさに浮かれて二〇一七年スタートしましたが、同じく群馬で代表になった先輩の意識の違いに気付かされ、気持ちを直した次第。三月の東京選手権は、第三シードの選手に敗れましたが、全国のレベルを初めて肌で実感できました。七月は中部日本大会に初出場しファイティの部で初優勝することができました。十月の上越市で開催されたマスターズでは、選手宣誓という大役を何とか切り抜け、試合の方は結果として準優勝された選手に予選で負けたのですが、ここでも全国トップレベルを実感でき、更に頑張る気持ちが出てきました。

卓球を再開して五年。マスターズを終え一番感じたことは、目標への思いを持ち続け、継続することで成果は見えてくるということです。社会人ですからどうしても練習時間には限りがあります。練習以外にもやらなければいけないことが多々ありますが、卓球の優先度をどれだけ高められるか、どれだけ集中する時間を作れるかが勝つためにはとても重要と感じます。また、一緒に練習してくれる仲間がいること、練習環境があること、いかに自分でその環境を作っていくのかが大切だと思います。幸いなことに上越地区は卓球好きがたくさんいます。声を掛ければ

Nittaku
全日本卓球
Nittaku PREMIUM 40+ MADE IN JAPAN
ブラ3スター プレミアム
石川 佳純 (全農)
平成 29 年度 全日本卓球選手権 (一般・ジュニアの部) 大会使用球



誰かが答えてくれる良い環境です。謙信上越の練習メンバー、上教大の学生さん、上越高校のみなさん、新井頸南地区メンバー、そして群馬の同胞、同じ思いを持つ仲間と過ごす時間は厳しくも楽しく、素晴らしく貴重なものです。昨年末はライジング新潟の皆さんと練習を共にすることが出来、練習に向かう姿勢や試合の集中力といった点でも学ぶところがありました。卓球を中心に人の和が広がり、良い意味で私の周囲はザワついています。この雰囲気を持続して、二〇一八年は、更なる飛躍の年に出来たらいいなと思っています。皆さん一緒に練習しましょう。拙い文章でしたが、最後まで読んで頂きありがとうございます。

全日本マスターズ審判を終えて

足利 衆

「上越で全日本マスターズをやる」

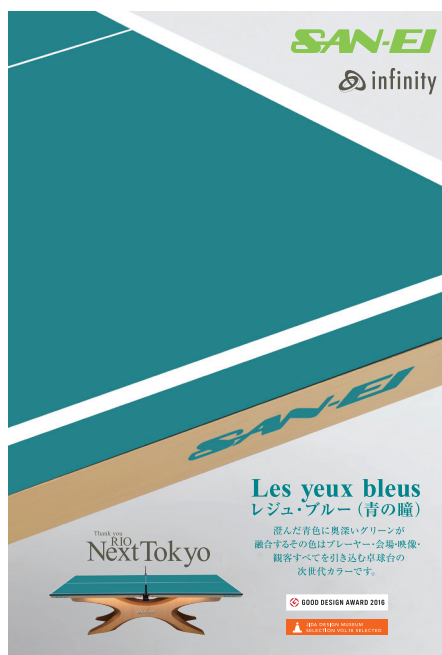
初めて聞いたとき、私の中では全く実感がわきませんでした。準備委員会に呼ばれ、審判の運営を申しつけられたときも、まだどこか他人事のような気がしていました。ともかくも、県卓の藤田審判部長とともに、講習会の計画や人員の確保に向けて動き出しましたが、全貌が明らかになるにつれ、今度はあまりにも大変な仕事内容に、途方に暮れるようになりしました。できれば金曜日・土曜日には主審だけでのべ二四〇人は集めたい、できればほぼ地元の人間で、できれば全試合に副審もつきたい……。結果をいうと、ことごとく実現できませんでした。

私自身は、一般の大会で審判の仕事に携わるのが今回ほぼ初めてだったのですが、審判員確保に際して、大変多くの方にご協力いただきました。中でも本県で長年、審判の育成に尽力してこられた藤田審判部長の人脈の広さには驚かされました。また、県卓から要請のあった支部以外からも急遽ご協力をいただいた支部もありました。「足利のためなら」と言っていたいた時は本当に涙が

出るほど感激しました。この場を借りて、全ての方に感謝申し上げます。

ようやく（物理的な最低限の）人数を確保しましたが、一人で一日十六試合などという常軌を逸したような過密さになってしまいました。私自身も促進ルールが適用された際のストロークカウンタとして急遽コートに入ることが度々ありました。（英語で一〜十三を数えるだけのような気もしますが、集中力を維持するのはなかなか大変でした。あれほどの数字を英語で数える経験はこれまでもなかったし、これからもないと思います。）誰か一人でも倒れたらパンクしてしまうような、また実際に倒れてもおかしくないような、かつかつの状態でしたが、なんとか乗り切ることができました。

先にも述べましたが、私自身は（選手として大会に参加することはあっても）、審判員として大会運営に携わるのが初めての状態でし



た。今回が初めての審判という方から、大きな試合の経験もあるベテランの方までさまざまな方が、高いレベルの試合になればなるほど、審判の技術レベルは高いものが要求されるし、逆に選手の意識も高いものが要求される、ということに改めて感じました。自信を持ってジャッジできるかどうかは、ルールをきちんと知っているかどうかによりますが、選手なのに正しいルールをよく分かっていない人も結構います。ルールをしっかり知っていれば、選手としても審判としてもきちんと振る舞うことができるはずですが、果たして自分は今までどうだったろうかと、考えさせられました。大会運営については、もう一回やればもっと上手にできるような気がします。もうやりたくないというのが正直なところですが。

平成29年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 「はばたけ世界へ南東北総体2017」 第86回全国高等学校卓球選手権大会 (繋がる絆魅せよう僕らの若き力)

●平成29年7月28日(金)～8月2日(水) ●郡山総合体育館(福島県郡山市)



新潟県高体連
卓球専門部委員
松本 滋

か。遠い温泉宿より、近くで夕飯は
ありませんがビジネスホテル、とい
う選択肢はどうなのだろうかと思え
させられました。また振り返って新
潟県の宿舍状況にも同じ事が言える
のではないかと感じています。夕食
が好まれるのではないのでしょうか？

今年のインターハイは福島県郡山
市(郡山総合体育館)で行われまし
た。平成二十七年の第四十三回全
国高等学校選抜卓球大会が開催され
た体育館でもあります。新潟からは
自動車で行くことが出来るとてもあ
りがたい立地です。体育館自体はそ
れほど大きくなく、応援する側は通
路に直に座らなければならぬほど
です。応援は一体感を生まれたかも
しれません。役員宿舎はすぐ近くで
(歩いて五分ほど)とてもありがた
かったのですが、選手は少し遠い宿
舎もあると聞きました。夕飯がセッ
トになっている宿泊施設が少なく、
遠隔地まで含める必要があるらしい
のです。この時代夕飯はコンビニで、
というわけにいかないのでしょうか



男子団体戦は全国ベスト十六とい
う良い結果でした。しかし全国八と
の差を感じてしまうのは賛沢でしょ
うか。愛工大名電、遊学館、希望が丘、
野田学園、などの有名校といかにし
て戦えばいいのでしょうか。団体ベ
スト八を狙っていくのと、個人戦ベ
スト八を狙っていくのと新潟県の高
校にはどちらがふさわしいのかと考
えさせられます。

男子団体は一回戦松山商業(愛
媛)、二回戦駒大苫小牧(北海道)
に勝ち、三回戦希望が丘(福岡)に
〇―三で負けました。一、二回戦県
チャンピオンの片桐君が最後までつ
りしめてくれた良い試合という印象
でしたが、三回戦はさすがに厳しい
ところがあつたかと思えます。他の
選手も勝ったり負けたりしながら
チームとして三回戦まで進めたのは
全体の力があるのだと思えます。女
子は奈良女子(奈良)に二―三で初
戦敗退でした。一回戦の中でも最長
かと思える二時間越えの大接戦で
す。一年生二人を軸に据えながらよ
くがんばったと思います。この経験
がまた今後に生かされるだろうと感
じる良い試合でした。

男子ダブルスは片桐・小唄組(新
潟産大附)が二回戦で西村・深沢組
(浜松修学舎、静岡)に一―三で敗
退でした。一ゲーム目をジュースで
取りましたが、そのあとどんどん点

VICTAS The innovator of the future

V>15 Extra

THE CONCEPT IS POWER AND SPIN.

類いまれなる **総合力**

V>15 エキストラ

020461 6,000円+税

Style ——— ハイエナジーテンション裏ソフト
Thickness ——— MAX / 2.0
Color ——— レッド/ブラック **47.5±3**
Made in Germany





大会記録

〈男子学校対抗〉

- 1回戦 新潟産業大学附属高等学校 3-1 松山商業 (愛媛)
 2回戦 新潟産業大学附属高等学校 3-2 駒大苫小牧 (北海道)
 3回戦 新潟産業大学附属高等学校 0-3 希望が丘 (福岡)

ベスト16

〈男子ダブルス〉

- 1回戦
 片桐・小唄 (新潟産大附) 3-1 竹尾・藤川 (北陵・佐賀)
 王・櫻井 (新潟産大附) 1-3 永田・吉田 (希望が丘・福岡)
 2回戦
 片桐・小唄 (新潟産大附) 1-3 西村・深沢 (浜松修学舎・静岡)

〈男子シングルス〉

- 1回戦
 片桐 (新潟産大附) 0-3 赤井 (明秀学園・茨城)
 任 (開志国際) 3-0 安満 (檀原・奈良)
 小唄 (新潟産大附) 3-0 棚内 (東奥学園・青森)
 2回戦
 石山 (開志国際) 3-0 山崎 (敬徳・佐賀)
 任 (開志国際) 0-3 林 (慶應義塾・神奈川)
 小唄 (新潟産大附) 1-3 宮本 (愛工大名電・愛知)
 3回戦
 石山 (開志国際) 1-3 吉田 (専大北上・岩手)

ベスト64

〈女子学校対抗〉

- 1回戦 北越 2-3 奈良女子 (奈良)

〈女子ダブルス〉

- 1回戦
 謝・横内 (開志国際) 3-1 杉木・大塚 (樹徳・群馬)
 相馬・佐藤 (新潟産大附) 0-3 宮崎・宮野 (四天王寺・大阪)
 2回戦
 謝・横内 (開志国際) 3-0 井本・稲村 (芦屋学園・兵庫)
 3回戦
 謝・横内 (開志国際) 1-3 遠藤・堀田 (横浜隼人・神奈川)

ベスト32

〈女子シングルス〉

- 1回戦
 相馬 (新潟産大附) 0-3 天野 (日本航空・山梨)
 伊藤 (北越) 3-0 澤田 (育英・兵庫)
 児玉 (北越) 3-1 大和田 (角館・秋田)
 2回戦
 謝 (開志国際) 3-0 加藤 (真岡女子・栃木)
 伊藤 (北越) 3-2 宮村 (札幌大谷・北海道)
 児玉 (北越) 0-3 森本 (白子・三重)
 3回戦
 謝 (開志国際) 1-3 工藤 (五所川原商・青森)
 伊藤 (北越) 0-3 松井 (横浜隼人・神奈川)

ベスト64

ベスト64

が取れなくなってしまいました。作戦を変えられたときの対応力の差、またうまくいかなかったときの違う作戦への切り替えの差でしょうか。ちなみにこのチームは優勝した木造・高見組 (愛工大名電・愛知) に一―三で敗退し、三位入賞したチームでした。王・櫻井組 (新潟産大附) は初戦で永田・吉田組 (希望が丘・福岡) に一―三で敗退でした。

新潟産大附) が二回戦、片桐 (新潟産大附) が一回戦でした。女子シングルスは謝 (開志国際)、伊藤 (北越) が三回戦、児玉 (北越) が二回戦、相馬 (新潟産大附) が一回戦でした。ちなみに男子シングル出場選手二一人中、留学生と思われる選手は六人、女子は二―四人中六人でした。多いのでしょうか少ないのでしょうか。昔良く聞いた留学生ブロックなるものは、今は見受けられません。日本人選手が活躍しているせいでしょうか。シングルスランキング十六人の中に留学生は男女ともいないようです。(ダブルスにもいません) 時代の変化は確かにある中で、留学生問題についてはどのような形が新潟県にとって良いのか議論を重ねていきたいと思っています。





バタフライ
アドハイサイスタンス

水谷隼

BUTTERFLY

卓球で夢をかなえる
バタフライとかなえる

株式会社タマス 0120-600-731
butterfly.co.jp



第48回全国中学校卓球大会

●平成29年8月22日(火)～25日(金) ●大分県別府市べっぷアリーナ

【成績】

〈男子個人〉

1 回戦

○佐藤壮真(糸魚川) 3-1 蒲生将吾(京都・高野)
○渡辺 凱(糸魚川) 3-1 前原椿樹(東京・東海大菅生)
×姚 東申(新発田東) 0-3 安江光博(高知・明徳義塾)

2 回戦

×佐藤壮真(糸魚川) 0-3 篠塚大登(愛知・愛工大附属)
×渡辺 凱(糸魚川) 1-3 山本 歩(島根・出雲北陵)

〈女子個人〉

1 回戦

○鈴木若葉(新発田東) 3-2 谷口果帆梨(熊本・三和)
×立川朋佳(亀田) 0-3 花井可奈(東京・武蔵野)

2 回戦

○相馬夢乃(葛塚) 3-2 赤江夏星(兵庫・須佐野)
×鈴木若葉(新発田東) 0-3 津隈愛佳(兵庫・魚住東)

3 回戦

×相馬夢乃(葛塚) 0-3 日浦愛佳(山口・玖珂)



新潟県中学校体育連盟
卓球専門部部長
比護 洋平

【講評】

今年度の全中は、大分県別府市べっぷアリーナで開催された。全国大会を開催するにふさわしい、大変すばらしい会場であった。

新潟県勢は個人戦のみの出場であった。男子個人は、渡辺、佐藤(いずれも糸魚川)、姚(新発田東)の

三名が出場した。

一回戦、渡辺はロビングやブロックで粘りながら、時折強打を放ち快勝。佐藤は一ゲームを先制されたものの、二ゲーム以降レシーブがしつかり入るようになり、三―一で勝利した。姚は明徳義塾中の選手と対戦した。バックの連打で仕掛けるものの、相手にミスがない。最後に打ち込まれてしまう展開となり、敗退となった。

二回戦、佐藤は愛工大附属中の選手と対戦した。相手の質の高い攻撃にミスがなく、攻め込まれてしまう場面が多く、〇―三で敗退となった。渡辺は出雲北陵中の選手と対戦。先に打ち込まれる展開が多く、ロビングやブロックで凌ぐが得点を重ねることができない。強打をしかけるもののミスが出てしまい、流れをなかなかつかめないまま一―三で涙をのんだ。

女子個人は、立川(亀田)と鈴木(新発田東)、そして日本卓球協会推薦の相馬(葛塚)の三名が出場した。

一回戦、立川は武蔵野中の選手と対戦。バック表のボールに対してネットミスが多く、流れがなかなかつかめないまま〇―三で敗退となった。鈴木は、最初の二ゲームを先行されてしまう。しかし、徐々にカットを安定して切っていくようになり、三ゲーム奪い返して逆転勝ちを収めた。次の二回戦では、魚住東中の選手に対して、残念ながら〇―三で敗退となった。

前年度三位の相馬は優勝も期待されたが、初戦となる二回戦から苦戦することになった。フルゲームにもつれるも、後半はカットと攻撃が安定して勝利した。三回戦では玖珂中の選手との対戦となった。相馬のカットに対して、相手は無理な攻撃をせず、ひたすらバック面の表ソフト(ツブ高?)で丁寧につなぐ戦術をとってきた。ミスをしない相手に対して、相馬が先にミスをしてしまう。攻撃をしてもネットミスが多く、調子が出ないまま試合が進んでいく展開となった。そして、まさかの〇―三での敗退となってしまった。相手が研究してきていることはもちろんだが、相馬自身も優勝候補としてのプレッシャーがあったのではないかとと思う。今回の敗退は残念であるが、将来有望な選手であることには変わりはない。この結果を糧として、今後さらなる大舞台での活躍を期待したい。



全体的に見ると、男子はほとんどがシェーク両面裏ソフトの攻撃型である。早い段階でドライブをかけていき、先手を取った方が有利にラリーを進めている。また、台上バックハンドからのレシーブがここ数年で増えてきたが、それを封じるためのロングサーブの割合も増えてきている印象を受けた。女子はプレースタイルが多彩で、バックに表ソフトやツブ高を貼った両面異質の選手、ペンツブ、そしてカットマンも多い。

団体戦は、ダブルスがやはりポイントとなっており、各チームも相当訓練を積んでいると感じた。男子明豊中は右利き同士のペアで、レシー



ブからチキータを多用し、一発で点数を取りに行くプレーをしていた。また、チームに一人カットマンを入れていたところも多かった。

今回の団体で注目したのは、女子の玖珂中（山口）である。シェーク異質の選手をそろえており、ワイパーのようなスイングで出すサービスの得点力、球質の変化やコース取りでの得点のしかたなどは、大いに参考になる部分であった。私学上位の状況が続く中、公立中学校ながら三位入賞し、勇気を与えられた。

新潟県としても、新潟県卓球連盟強化部、小学委員会、高体連、クラブチームなどの連携をとりながら、長期計画の中で強化を継続していきたい。



平成二十九年十二月十五日（金）から十二月十七日（日）まで長岡市市民体育館で第四十五回北信越高等学校選抜卓球大会が開催されました。五年に一回の新潟県開催になります。この大会は福井県で三月二十五日から行われる全国高等学校選抜卓球大会の予選を兼ねてもあります。（個人戦はこの大会だけで、全国選抜の個人戦にはつながりません。）また今回のこの大会で女子の北越高等学校が通算二十回出場で表彰されています。

第45回北信越高等学校選抜卓球大会

●平成29年12月15日（金）～17日（日） ●長岡市市民体育館

〈男子団体戦 予選リーグ〉

開志国際 2-3 高岡龍谷（富山） 3-0 七尾（石川） 3-0 長野商業（長野）
新潟産大附 1-3 長野工業（長野） 3-1 富山商業（富山） 3-1 工大福井（福井）
上越高校 0-3 遊学館（石川） 1-3 福井商業（福井） 3-0 砺波工業（富山）
北越 0-3 敦賀（福井） 1-3 金沢学院（石川） 0-3 松商学園（長野）

開志国際予選2位と新潟産業大学附属予選2位が代表決定トーナメントへ
開志国際 2-3 福井商業（福井） 新潟産大附 3-2 金沢学院（石川）
新潟産大附 3-2 開志国際 新潟産業大学附属高等学校が第6代表として全国選抜へ

〈女子団体戦 予選リーグ〉

北越 3-0 富山商業（富山） 3-0 金沢泉丘（石川） 3-0 大野（福井）
新潟青陵 0-3 遊学館（石川） 1-3 須坂創成（長野） 3-1 南砺福野（富山）
開志国際 1-3 福井商業（福井） 3-0 金沢学院（石川） 3-1 長野商業（長野）
糸魚川白嶺 0-3 松商学園（長野） 0-3 敦賀（福井） 0-3 高岡西（富山）

北越予選1位で決勝トーナメント 開志国際予選2位で代表決定トーナメントへ
北越 0-3 福井商業（福井） 3位で全国選抜へ
開志国際 2-3 富山商業（富山） 代表決定トーナメントで敗退

〈男子個人戦〉

角田英司（新潟青陵）予選リーグ3位
稲葉純弥（新発田中央）予選リーグ2位で決勝トーナメントへ
伊藤暢孝（日本文理）予選リーグ2位で決勝トーナメントへ
新沢頼陽（柏崎常盤）予選リーグ2位で決勝トーナメントへ
稲葉純弥 1-3 河村直喜（魚津高・富山）でベスト8
伊藤暢孝 1-3 川森正勝（武生工業高・福井）でベスト8
新沢頼陽 0-3 松島史弥（飯田高・長野）でベスト8

〈女子個人戦〉

江戸谷冬萌（上越）予選リーグ1位で決勝トーナメントへ
石井知里（新発田）予選リーグ3位
佐藤沙羅（新発田商業）予選リーグ2位で決勝トーナメントへ
燕千尋（長岡向陵）予選リーグ2位で決勝トーナメントへ
燕千尋 3-1 井出美優（小諸商業高・長野）0-3 藤住望美（穴水高・石川）3位
江戸谷冬萌 2-3 川辺紗嬉（高岡工芸高・富山）でベスト8
佐藤沙羅 0-3 劉博雅（航空石川高・石川）でベスト8

毎回雪を心配しながらの大会でもありますが、全日本とも日程が重ならず、雪がひどすぎず、宿舎が確保できる日程という、主催するこちら側にとって難しい中での開催でもあります。今年は中雪くらいでしょうか？小雪？でほっとしました。

団体戦は男子新潟産業大学附属高等学校と女子北越高等学校が代表権

を得ました。全国選抜は北信越地区での開催です。是非全国の舞台で活躍して欲しいと思います。

大会はたいへんスムーズに終わりました。寒い中で運営に当たってくださった長岡地区役員の皆様、審判を手伝ってくださった方々本当にありがとうございます。毎回サポートしてくださる方々がいてこそ大会は動くのだなとの思いを強くします。本当にありがとうございます。

結果の詳細は北信越高体連卓球専門部のHPをご覧ください。よろしくお願いします。

〈愛媛国体を終えて〉

少年女子監督 近藤 功成



愛媛県宇和島市で行われた、「笑顔つなぐえひめ国体」卓球競技の少年女子は、ベスト八以上を目標に試合に臨んだ。北信越ミニ国体では、通過することが難しい中、相馬天音（三年・新潟産業大学附属高等学校）、謝嘉其（二年・開志国際高等学校）、相馬夢乃（三年・葛塚中学校）、児玉茉優（一年・北越高等学校）の四選手がそれぞれ奮闘し、本国体への切符を掴んだ。その結果もあり、本国体での入賞も期待された。

予選リーグでは、福岡県、愛知県、東京都、福島県との対戦となった。今大会の新潟県チームは、全員所属が違ったこともあり、なかなか全員での合同練習を行うことが難しかった。それでも、各学校の先生方に協力して頂き、本大会までできる限りの練習を行ってきた。本大会が始まると、選手、監督ともに緊張感が増してきた。第一試合目の福岡戦。ここで勝ちきることができれば、入賞は確実にできると私は思っていた。選手とも、福岡戦に標準を合わせ全力で勝ちに行こうと話をしていった。しかし、結果は〇―三とストレートで負けた。第二試合は次の日だったため、気持ちを切り替えて戦おうと選手と話をしていたが、残りの三戦とも二―三で負けてしまった。しかし、新潟県代表の自覚を持ち、最後まで諦めることなく、全力でプレーをした選手を称えたい。

今大会の少年女子の宿舎は民宿だった。そこでの出会いは、選手にとっても私にとってもかけがえのないモノになった。毎日、試合が終わると暖かい笑顔で迎えてくれ、選手への差し入れをして頂き、大会会場へも足を運んで下さった。試合中も、最前列で応援して下さっていた。勝つ姿を見て頂くことができなかった



のが心残りだが、人との出会い、つながりの大切さを改めて感じた。最後まで諦めずに戦うことができたのも、民泊家庭のみなさんの支えがあったからだと思う。

私は初めて、国民体育大会卓球競技少年女子の監督をさせて頂いた。北信越ミニ国体、愛媛国体という大会で監督をさせて頂いたことは本当に良い経験だった。最後に、本大会を迎えるにあたり、新潟県体育協会や新潟県卓球連盟、各学校、クラブチームの監督、スタッフのみなさんにはたいへん協力して頂き、応援をして頂いた。本当にありがとうございました。

事務局移転のお知らせ

平成 29 年 4 月 1 日より、新潟県卓球連盟の事務局を下記へ移転することになりました。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

新住所・電話番号・FAX 番号
〒950-0994

新潟市中央区上所 3 丁目 6-20-5
ロイヤルステージ I 103 号室

TEL/FAX 025-383-8045

E-mail niigatakentakuren@sky.plala.or.jp



原点回帰

ノングルー時代こそ元祖・高弾性高摩擦ラバー

MARK V へ帰る



<http://www.yasaka-jp.com>

「愛媛国体を終えて」

少年男子監督 山岸 健弥

平成二十九年九月三十日から行われた、愛媛つなぐえひめ国体卓球競技の少年男子は、十三年振りのベスト八を目標に戦ったが、ベスト八決定戦で高知県に惜しくも一―三で敗れた。一進一退の攻防でどちらが勝ってもおかしくない状況だっただけに非常に悔やまれる試合となった。しかし、チームが一丸となり新潟県の代表としての誇りを持ち戦った選手を称えたい。

今年度の少年男子は石山慎(三年・開志国際高等学校) 片桐友翔(三年・新潟産業大学附属高等学校) 王景浩(三年・新潟産業大学附属高等学校)



平成 29・30 年度 新役員

会 長	田 村 浩 一			
副 会 長	渡 辺 実 松 尾 正 行			
理 事 長	小 野 衛			
副 理 事 長	浅 嶋 義 之 博			
事 務 局	本 間 敏 里 細 野 修 司			
総 務 部	丸 田 磨 之 星 野 透			
事 業 部	◎浅 嶋 義 之 新 桑 原 百合子			
強 化 部	◎星 野 透 也 森 山 強			
普 及 部	◎平 田 和 夫 立 川 正 史			
広 報 部	◎清 野 勝 彦 竹 内 滝 幸 彦			
審 判 部	◎山 崎 子 富 雄 金 川 幸 治			
大 学 委 員 会	◎藤 井 邦 夫 滋 良 彦			
高 校 委 員 会	◎松 本 紀 明 松 本 滋			
中 学 委 員 会	◎藤 田 幸 彦 比 護 洋 平			
小 学 委 員 会	◎牛 山 幸 治 比 護 洋 平			
マスタース委員会	◎早 福 光 明 比 護 洋 平			
レディース委員会	◎吉 川 幸 治 比 護 洋 平			
	◎梅 津 喜 勉 恵			
	◎金 田 敏 恵			
	◎渡 部			

(◎は局長、部長、委員長です)

よろしくお願いいたします。

(このほかに代議員の方々にも各部・委員会で御協力願っております)

片桐令輝(三年・新潟青陵高等学校)の同学年四名で形成されたチームであった。今回はストレート種目であったため、メンバーが決まった段階から合同練習を多く取り入れた。特に、夏休みはほぼ毎日練習を行うなど技術だけでなくチーム力の向上にも取り組んだ。

本国体に向かう際、新潟空港で理事長から激励の言葉をいただいた。出発日は生憎の悪天候で予定していた飛行機が欠便となり急遽、羽田空

港にまわることになったが、理事長が丁寧に対応してくださったこともあり大きな問題とならずほぼ予定通りに愛媛へ到着することができた。理事長に感謝したい。

本番の試合では、新潟県はシードだったため二回戦からとなった。二回戦の兵庫戦では、厳しい戦いになることも予想されたが、石山、片桐(友)、王の三選手が奮闘してくれ三―〇で勝利することができた。試合の中で、上で応援していた片桐(令)も一本一本立って応援するなど選手、ベンチ、応援が一体となり皆で掴んだ勝利となった。

そして、三回戦(ベスト八決定)の高知戦では、一番の石山が相手のエースをゲームオールで破り新潟県に流れを引き寄せたが、片桐(友)、王が続くことが出来ずに敗れてベスト十六敗退となった。

目標となる「ベスト八以上」を達成することは出来なかったが、大会までの準備をしつかりと行い、本当に雰囲気よく最後まで一生懸命に戦った選手を称えたい。最後に、大会本番までに協力してくださった新潟県体育協会や新潟県卓球連盟、応援していただいた新潟県卓球人の方々に感謝したい。本当にありがとうございました。